

令和5年3月29日

厚生労働省
健康局長 佐原 康之殿

公益社団法人日本皮膚科学会
理事長 天谷 雅行



一般社団法人日本ペインクリニック学会
代表理事 飯田 宏樹



带状疱疹ワクチンの定期接種化に関する要望

日本皮膚科学会ならびに日本ペインクリニック学会に所属する医師は、带状疱疹および、その合併症として最も発症頻度が高く長期治療を要する带状疱疹後神経痛を数多く診察する中で、その疾病負担の高さを痛感しています。また、昨今 COVID-19 流行以降、Vaccine Preventable Disease (VPD) に対する関心が高まる中、VPD の1つである带状疱疹ワクチン接種について、本学会所属医師への問い合わせが増加し、一般の方の带状疱疹予防に対する関心が高まっていることを実感しています。

带状疱疹は、宮崎県で行われている带状疱疹大規模疫学研究調査で示されているように、50歳代から発症頻度が増加し、70歳代でピークを迎えます。平均発症頻度は、年間4.79人/1,000人ですが、70歳代では年間8.69人/1,000人と高齢者の発症率の高い疾患です¹⁾。また、80歳までに3人に1人が発症する一般的な疾患です。

带状疱疹の主な症状は皮膚症状と疼痛ですが、皮膚症状が軽快した後も、「灼けるような」、「刺すような」継続的な痛みや²⁾、神経障害性疼痛で特徴的なアロディニア（触れるだけで痛みとを感じる）を生じる带状疱疹後神経痛 (PHN) に移行してしまうことがあります。带状疱疹が発症した患者の約10~20%がPHNに移行するとされており、その割合も高齢化とともに増加し80歳以上では3割の方が移行すると報告されています³⁾⁴⁾。PHNに移行した場合、長期治療を要することとなり、日常生活や精神状態にも影響を与え、長期間にわたりQOLを低下させます。

また、带状疱疹の合併症としては、PHN以外に、脳炎、脊髄炎、髄膜炎、脳梗塞や脳出血。網膜炎、角膜炎、ベル麻痺、ラムゼイ・ハント症候群、聴力障害、細菌感染、運動麻痺²⁾などが発症することがあり、合併症によっては専門医への紹介を早期に行う必要があります。

带状疱疹の治療には、ウイルスの増殖を抑える抗ウイルス薬が主に使用され、発疹発現から72時間以内の全身抗ウイルス療法は疼痛消失までの期間を短縮しますが⁵⁾、带状疱疹発症後早期に受診する患者は少なく、皮疹出現後2日以内に受診する患者は半数

以下との報告もあります⁶⁾。また、ウイルスが知覚神経を傷つけ神経障害性疼痛を伴う PHN に移行した場合、治癒までには時間を要し特に高齢者では症状や治療が長引く可能性もあるだけでなく⁷⁾、痛みを伴う帯状疱疹の治療では、神経ブロックによる痛みの緩和が必要とする場合もあります。そのため、帯状疱疹の発症および、予期しない疼痛を回避するためには、帯状疱疹の発症自体を予防することは重要です。

帯状疱疹は、加齢、疲労、ストレスなどにより体の免疫が低下した時に発症するため、日常の中で免疫を低下させない生活を心がけることは重要ですが、帯状疱疹を予防する効果が最も期待できるのは、帯状疱疹ワクチンです⁸⁾⁹⁾。

2016 年に乾燥弱毒性水痘ワクチンの効能・効果に 50 歳以上の帯状疱疹の予防が追加されたことや、2019 年に乾燥組換え帯状疱疹ワクチンが使用できるようになり、より幅広い医療ニーズに対応できる環境が整ってきています。

このような背景から、現在、一部の自治体では、帯状疱疹予防のためのワクチンに対する費用助成が始まり、帯状疱疹ワクチンの接種向上に向けた取り組みが行われていますが、公費助成事業を導入する自治体は限定的です。また、助成額および助成対象となる帯状疱疹ワクチンの種類は自治体によって異なっているため、帯状疱疹ワクチンへの公平なアクセスはなされていません。そのため、現在、帯状疱疹ワクチンの接種率が不十分であり、期待される成果は得られていません。

日本は世界で最も平均寿命が長く、また、急速な高齢化に伴う社会保障にかかる負荷が課題となっていますが、健康な成人や高齢者が増加することは、医療・介護資源の負担を軽減できるだけでなく、健康な成人や高齢者自身および、その介護者による消費活動や労働生産性の向上が期待でき、社会全体の利益に繋がると考えます。

以上のことから、本学会は、健康長寿延伸および社会保障の負荷軽減を目指す手段の一つとして、全国的な帯状疱疹患者数の低減は重要であると考えており、その実現に向けた帯状疱疹ワクチンの定期導入、そして帯状疱疹ワクチンへの公平なアクセス体制の構築を強く要望いたします。

【参考文献】

- 1) Shiraki K., Toyama N. et al.: Open Forum Infect Dis. 4(1), ofx007, 2017
- 2) Johanson RW, et al: Clinical Practice Postherpetic neuralgia. N Engl J Med 2014; 371:1526-1533
- 3) Takao Y. et al.: J Epidemiol. 25(10), 617-625, 2015
- 4) Sato K. et al.: J Dermatol. 44(4), 414-422, 2017
- 5) 渡辺大輔. MB Derma. 2012; 190 71-78
- 6) 川島眞ほか. 臨床皮膚科. 2011; 65(9); 721-728
- 7) 国立感染症研究所 带状疱疹ワクチンファクトシート 平成 29 年
- 8) 浅田秀夫「高齢者のウイルス感染症の現状と対策」日老医誌 2021 ; 58 : 48—53
- 9) 日本ペインクリニック学会 ペインクリニック治療指針改訂第 6 版. 2019 年発行